

集合住宅の玄関・洗面所に関する研究 第2報 居住者の玄関・洗面所に対する評価と住まい方  
 ○愛知女子短大 萩谷房子 山田家政短大 志水暎子  
 市邨学園短大 烏田裕子

目的、方法 第1報に同じ。

結果、玄関(含ホール)に関する環境評価は、図1のとおりで、両住宅とも非常に悪い評価をしている。玄関に置いてある品目数は、1戸あたり平均12.9品目、O住宅12.5、S住宅14.2であり、O住宅は庭付バルコニーが玄関の代替えとしている。6割以上ありてあるものは、脱靴行為に関するエビのである。洗面、脱衣室に関する環境評価は図2のとおり。広さに関する評価は、両住宅とも悪い。洗面、脱衣室に置いてある品目数は、1戸あたり平均32.9品目、O住宅31.8、S住宅32.1である。

8割以上ありてあるものは、洗面行為、洗濯行為  
 脱衣行為に関する用品とストック用品である。5  
 割以上の住

戸において

あそこののは、  
 住宅の維持  
 管理用品が複、古  
 補助げた箱、古  
 新聞等が置  
 かれ、納戸  
 的要素が強い。

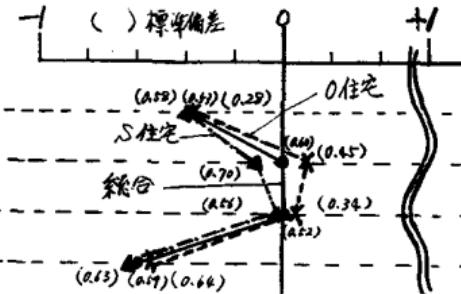


図2. 洗面・脱衣室に関する評価

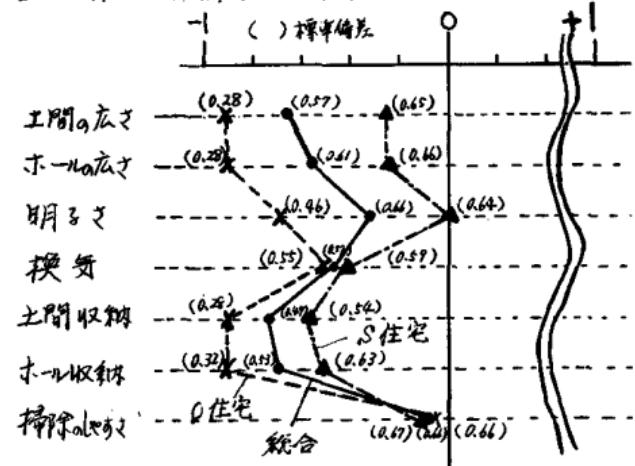


図1. 玄関に関する評価 (良(+), 普(0), 悪(-)の平均値)